

平成26年12月10日
相模原市発表資料

企画展示『江戸川乱歩の世界』 ～日本ミステリーの草分け・生誕120周年～

今年には推理小説界の巨匠・江戸川乱歩の生誕120周年にあたり、各地で様々な記念イベントが実施されましたが、市立図書館においても、乱歩の軌跡を振り返り、関連図書展示や解説パネルの掲示、ブックリストの配布等を行います。

ハラハラドキドキしながら少年探偵団シリーズを読んだあの頃の少年少女や、乱歩の事を知らない世代の方々にも、奇想天外な乱歩ワールドをお楽しみいただければと思います。

- 実施期間 平成26年12月12日（金）～28日（日）
- 場 所 相模原市立図書館（中央区鹿沼台2丁目）1階フロアー
- 内 容 ① 関連資料等の特集コーナーの設置（貸出可）
② 業績に係る解説パネルの展示
③ ブックリストの配布
④ ガラスケースによる絶版書の展示（貸出不可）

《 お問い合わせ先 》

相模原市立図書館 加藤、岩永
電話：042-754-3604

少年探偵 江戸川乱歩全集 (全46巻) ポプラ社 J913

あの子頃の少年少女のために旧版の紹介にこだわりました

- 『少年探偵団』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 3巻) 1964年
- 『青銅の魔人』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 4巻) 1964年
- 『大金塊』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 5巻) 1964年
- 『透明怪人』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 6巻) 1964年
- 『怪奇四十面相』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 7巻) 1964年
- 『宇宙怪人』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 10巻) 1964年
- 『奇面城の秘密』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 11巻) 1964年
- 『鉄人Q』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 17巻) 1970年
- 『魔人ゴング』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 20巻) 1970年
- 『悪魔人形』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 23巻) 1970年
- 『黄金仮面』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 27巻) 1970年
- 『蜘蛛男』 (少年探偵 江戸川乱歩全集 42巻) 1973年



『サーカスの怪人』
(少年探偵江戸川乱歩全集 13巻)
1964年

二十面相の本名とその生い立ちが
ついに明かされる!

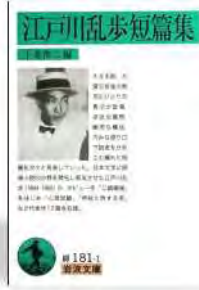
『黄金の怪獣』
(少年探偵江戸川乱歩全集 25巻)
1970年

1人、また1人。そっくりの別人に
入れ替り、乗っ取られていく家族...
かなり不気味です。



江戸川乱歩の世界

~日本ミステリーの草分け・乱歩生誕120周年~



『江戸川乱歩短篇集』
岩波書店 2008年 BF

二銭銅貨、D坂、屋根裏、
人間椅子、押絵.....
乱歩ワールド入門書。

乱歩が選ぶ黄金時代ミステリーBEST10

『赤毛のレドメイン家』
E. フィルポッツ / 著
集英社文庫 1999年 B933

乱歩が絶賛した英国ミステリー
の最高傑作。どんでん返しの意外
な結末。



- 『幻影城』 (江戸川乱歩全集 26巻) 光文社 2003年 BF
- 『妖虫』 (創元推理文庫 8巻) 東京創元社 1994年 BF
- 『恐怖王』 (春陽文庫) 春陽堂書店 1995年 BF
- 『暗黒星』 (角川ホラー文庫) 角川書店 1994年 BF
- 『悪魔の紋章』 (角川文庫) 角川書店 1978年 BF
- 『吸血鬼』 (角川文庫) 角川書店 1978年 BF
- 『うつし世の乱歩』
平井隆太郎 / 著 河出書房新社 2006年 910.268 It'ガ'
- 『回想の江戸川乱歩』
小林信彦 / 著 メタローク 1994年 910.268 It'ガ'

年 表

明治27年	10月21日、三重県名張市に生まれる。本名・平井太郎。
大正5年	8月、早稲田大学政治経済学部卒。大阪の貿易会社に就職。
大正8年	本郷・団子坂で二人の弟と古本屋「三人書房」を開業。 11月、村山隆子と結婚。
大正12年	4月、雑誌「新青年」に発表した『二銭銅貨』でデビュー。 一躍、探偵小説作家としての地位を確立。
大正14年	1月、『D坂の殺人事件』で名探偵・明智小五郎が初登場。 『屋根裏の散歩者』『人間椅子』などを次々と発表。
昭和2年	3月、1回目の休筆宣言。日本海沿岸などを放浪。
昭和3年	『陰獣』を「新青年」に連載。その後、『孤島の鬼』『魔術師』 『黄金仮面』『吸血鬼』など傑作長編を次々に発表。
昭和7年	2回目の休筆。関西や東北を旅行。
昭和9年	『黒蜥蜴』発表。三島由紀夫脚本、美輪明宏主演が有名。
昭和11年	初の少年物『怪人二十面相』を雑誌「少年倶楽部」に連載。 その後も『少年探偵団』などの傑作を次々と発表。
昭和14年	戦時下、『芋虫』が発禁となり隠遁生活を決意。
昭和22年	探偵作家クラブ結成、初代会長に就任。
昭和26年	傑作評論集『幻影城』を発表。
昭和29年	還暦祝賀会の席上で「江戸川乱歩賞」の制定を発表。
昭和36年	探偵小説界への長年の貢献により紫綬褒章受章。
昭和38年	日本推理作家協会創設、初代理事長に就任。
昭和40年	7月28日、脳出血のため死去。享年71歳。

参考資料

- 新潮日本文学アルバム「江戸川乱歩」 新潮社 910.26
- 江戸川乱歩と少年探偵団 堀江 あき子 / 編 河出書房新社 910.268 エドガ
- 回想の江戸川乱歩 小林 信彦 / 著 メタロ - グ 910.268 エドガ
- 江戸川乱歩99の謎 - 生誕百年 - 探偵小説の大御所 - 仁賀克雄 / 監修 二見書房 (藤沢市図書館所蔵)
- 旧江戸川乱歩邸

(<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/profile/facilities/edogawaranpo/>)

エドガー・アラン・ポー

「江戸川乱歩」の筆名が、彼が傾倒していたこの米国人作家名に由来するのは有名な話。

ポーは1809年生まれ。代表作は恐怖小説の『黒猫』、暗号小説の草分け『黄金虫』など。また、『モルグ街の殺人』等に登場する「オーギュスト・デュパン」は、世界で初めて登場した名探偵といわれる。1849年に謎めいた死を遂げた。

シリーズ第1作『怪人二十面相』において、拉致された明智探偵救出のため、二十面相にダイヤを狙われた羽柴家の次男・壮二の提唱で結成。小林団長以下、力自慢の井上君、愛嬌者のノロちゃん、少女探偵のマユミ、別働隊のポケット小僧などが活躍する。

団員は、BDバッジ(道しるべや武器として使用)や七つ道具(懐中電灯、万能ナイフ、絹紐の縄梯子など)を所持する。

少年探偵団

うっし世はゆめ よるの夢こそまこと

江戸川乱歩 キーワード

明智小五郎

『D坂の殺人事件』で、探偵小説好きの学生として初登場。その後、お茶の水のアパートに探偵事務所を構えた。金田一耕助似のモジャモジャ頭で、葉巻のフィガロを好む。二十面相にも劣らない格闘術、変装術、催眠術を駆使する。

『魔術師』事件で、主犯の娘だった悲劇の女性・文代と結婚した。黄金仮面に化けたアルサーヌ・ルパンと対決した事もある。

20の違う顔を持つと言われる変装の天才。狙った獲物は予告のうえで奪いに現れる。美術品の収集と、世間や少年探偵団を驚かし、明智小五郎に復讐するのが目的だが、殺人は犯さないポリシー。手錠抜けの名人であり、何度逮捕されても脱獄する。

その本名や生い立ちについては、ポプラ社版少年探偵シリーズの第13巻で明かされている。

怪人二十面相

